

市政モニターへのユニバーサルデザインに関するアンケート結果

【調査目的】 ユニバーサルデザインに関して、日ごろ感じていることや意見、提言等を伺い、今後の取組の参考とする。

【実施期間】 令和元年8月6日～9月6日

【対象者数】 市政モニター115名

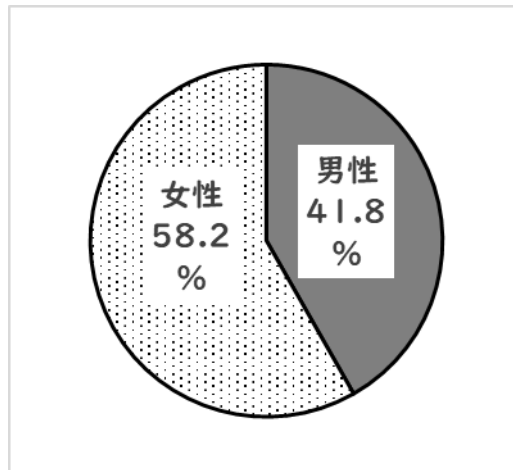
【回答者数】 91名(回答率 79.1%)

【回答者の属性】

■性別

男性 41.8%

女性 58.2%



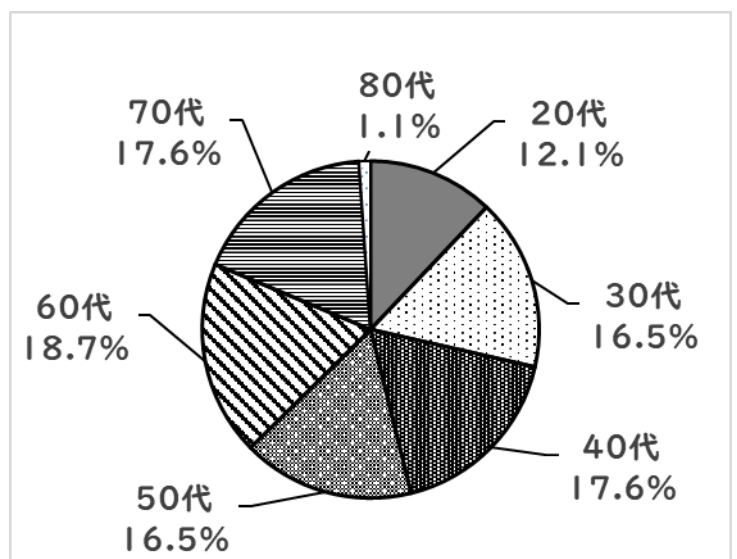
■年代

10代 0% 20代 12.1%

30代 16.5% 40代 17.6%

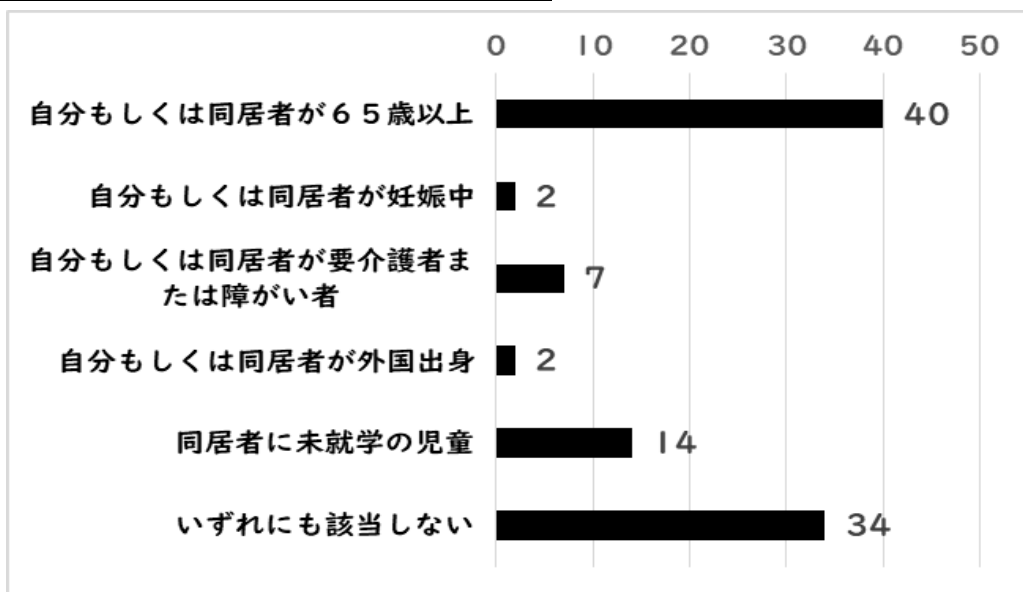
50代 16.5% 60代 18.7%

70代 17.6% 80代 1.1%



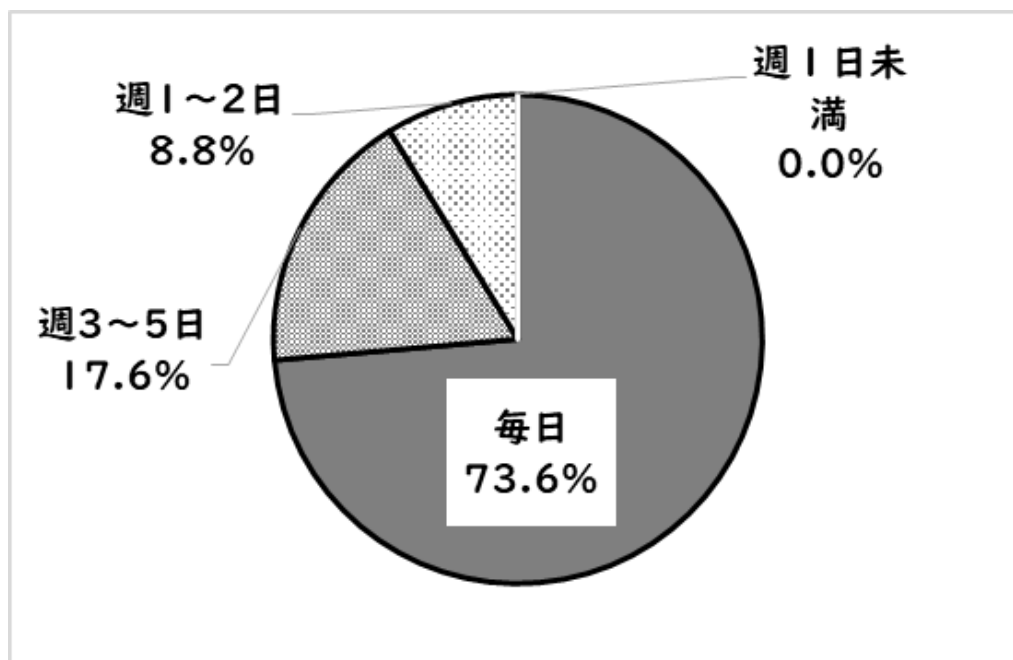
問1:あなたの氏名をご記入ください(省略)

問2:あなたもしくはあなたの同居者が1~5のいずれに該当するか教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください。)



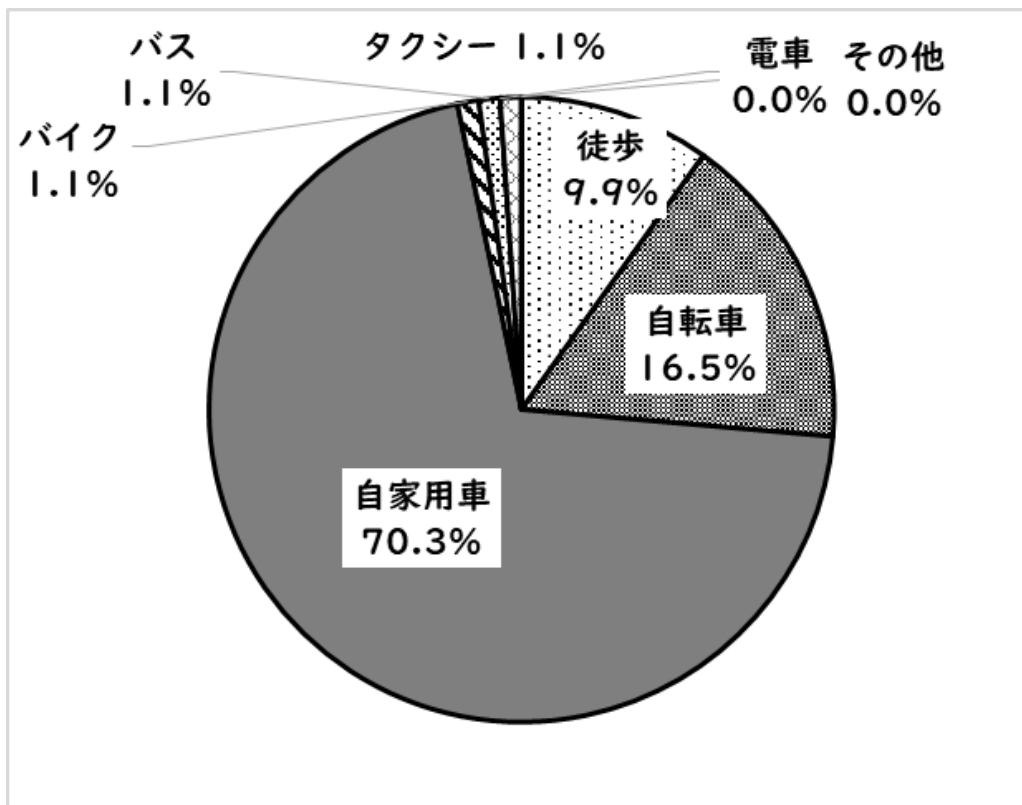
問3:あなたの外出頻度を教えてください。

- 1. 毎日 73.6%
- 2. 週3~5日 17.6%
- 3. 週1~2日 8.8%
- 4. 週1日未満 0%

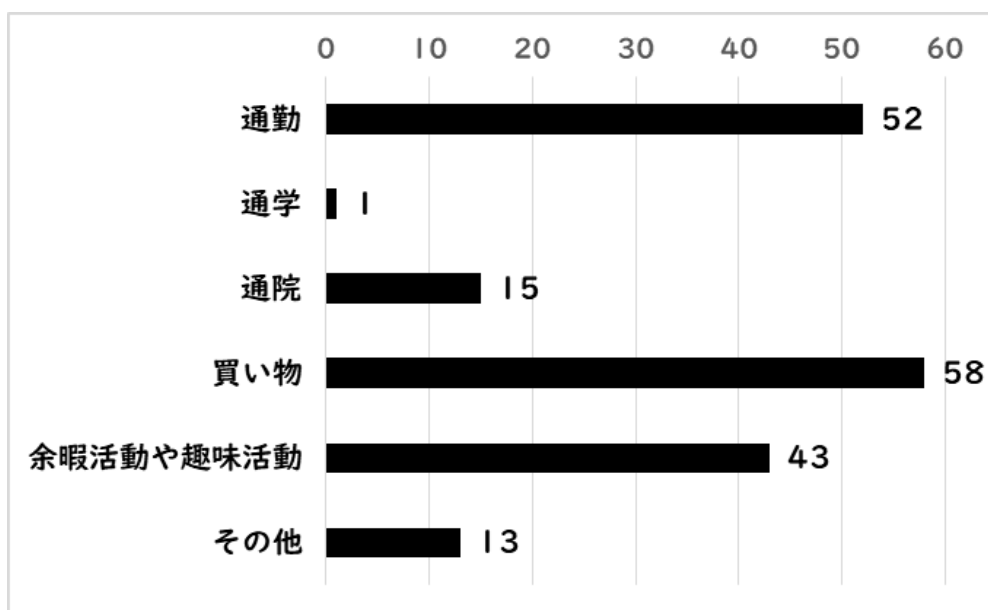


問4:あなたが日ごろ、もっとも多く利用している交通手段を教えてください。

- | | | | |
|---------|-------|--------|-------|
| 1. 徒歩 | 9.9% | 2. 自転車 | 16.5% |
| 3. 自家用車 | 70.3% | 4. バイク | 1.1% |
| 5. バス | 1.1% | 6. 電車 | 0% |
| 7. タクシー | 1.1% | 8. その他 | 0% |

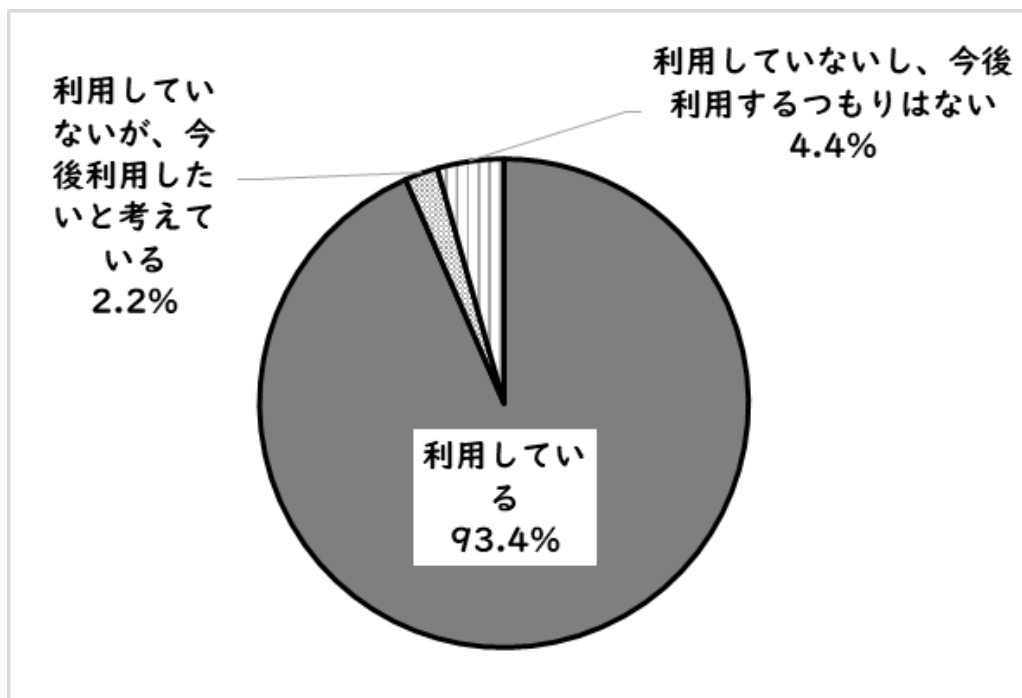


問4-1:問4で回答した内容はどのような目的で利用しているか教えてください。(複数回答可)

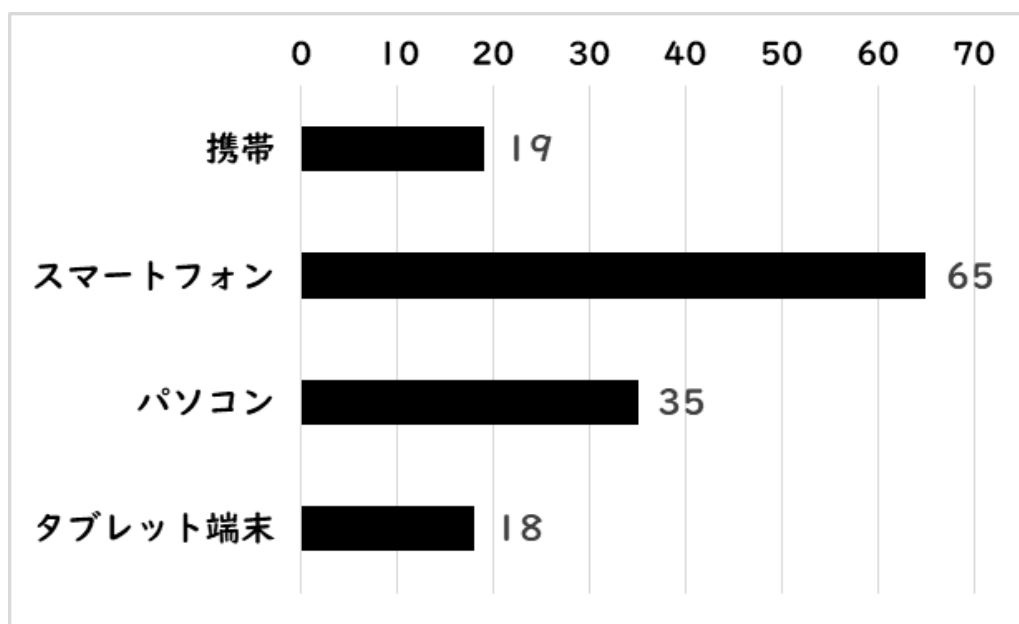


問5: 情報収集の手段として携帯電話やスマートフォンなどの情報機器を利用していますか。

- | | | |
|---------------------------|-------|---------|
| 1. 利用している | 93.4% | → 問5-1へ |
| 2. 利用していないが、今後利用したいと考えている | 2.2% | } 問5-2へ |
| 3. 利用していないし、今後利用するつもりはない | 4.4% | |

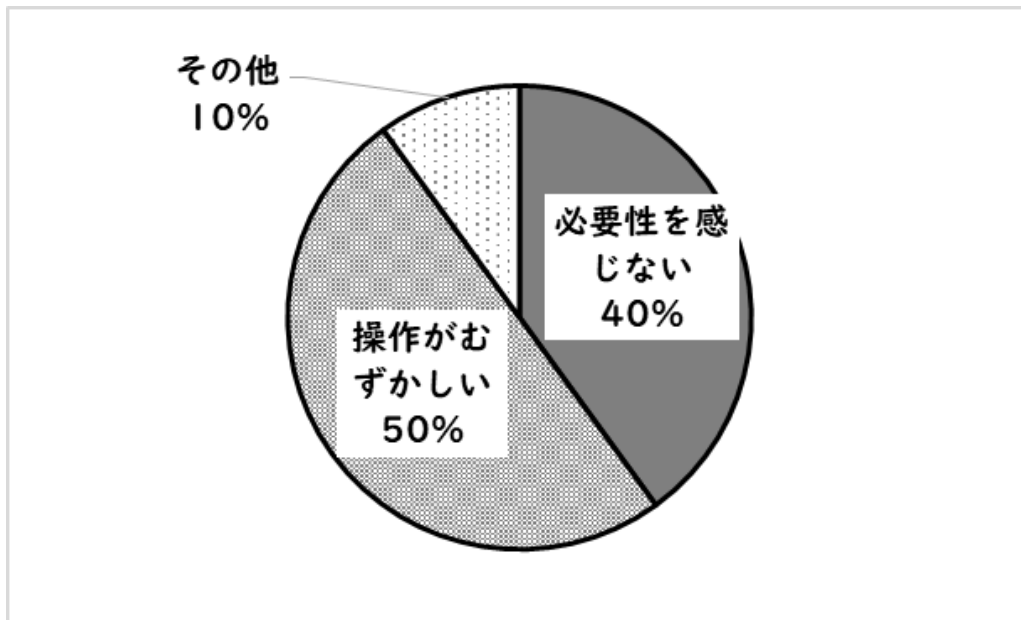


問5-1: 問5で「1.利用している」と回答した方に伺います。現在情報収集手段として利用しているものを教えてください。(複数回答可)



問5-2:問5で「2.利用していないが、今後利用したいと考えている」、「3.利用していないし、今後も利用するつもりはない」と回答した方に伺います。利用していない理由を教えてください。

- 1. 必要性を感じない 40% → 問6へ
- 2. 操作が難しい 50% → 問5-3へ
- 3. その他 10%

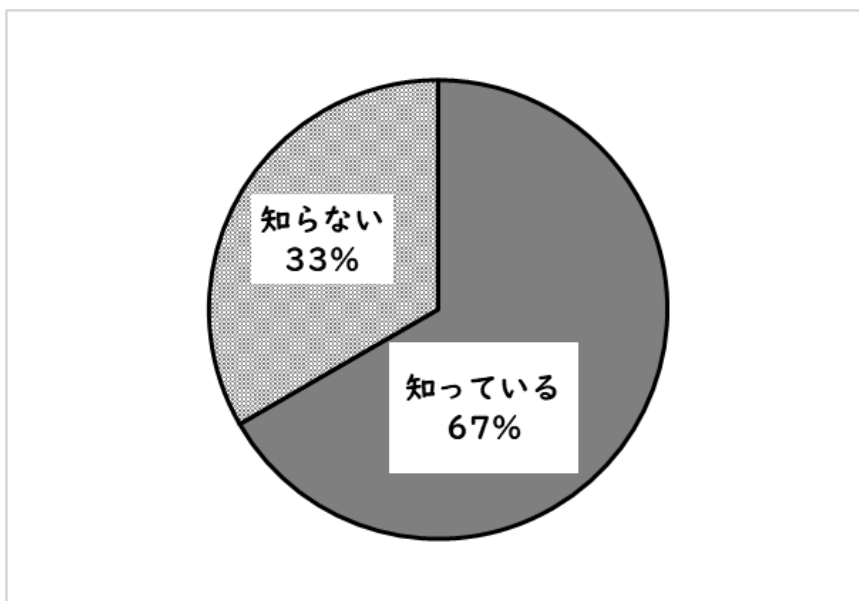


【その他の内容】

- ・「新聞、パソコン、テレビで間に合っている」

問5-3:問5-2で「2.操作がむずかしい」と回答した方に伺います。市が開催している初心者向けタブレット教室やインターネットサービス体験講座を知っていますか。

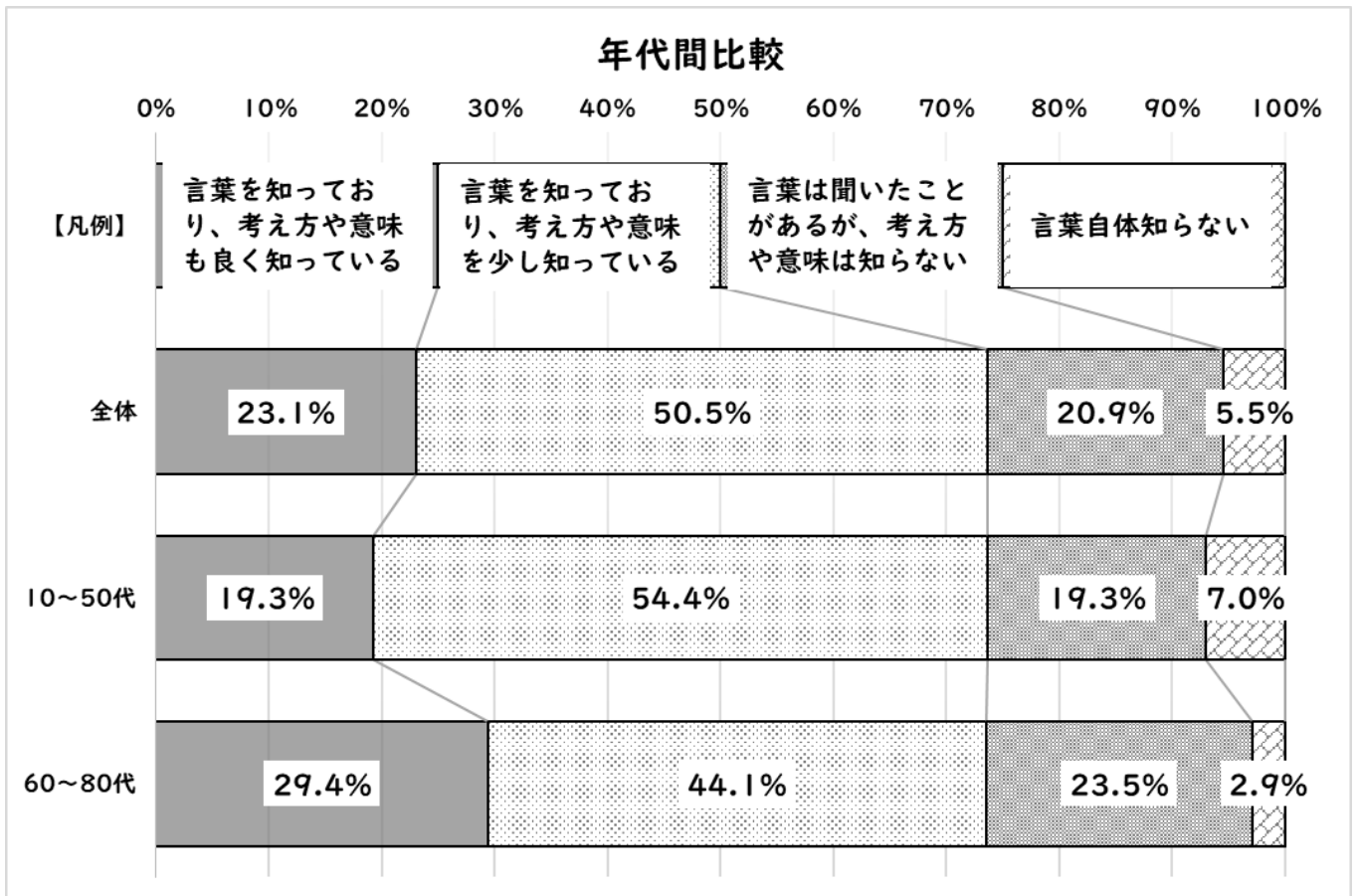
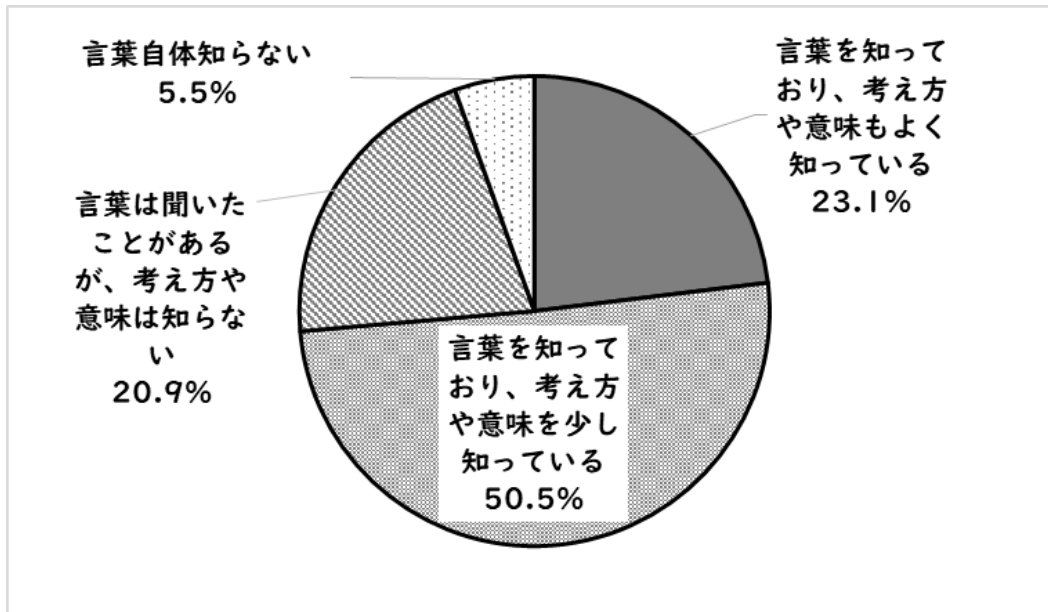
- 1. 知っている 67%
- 2. 知らない 33%



2. ユニバーサルデザインについて伺います

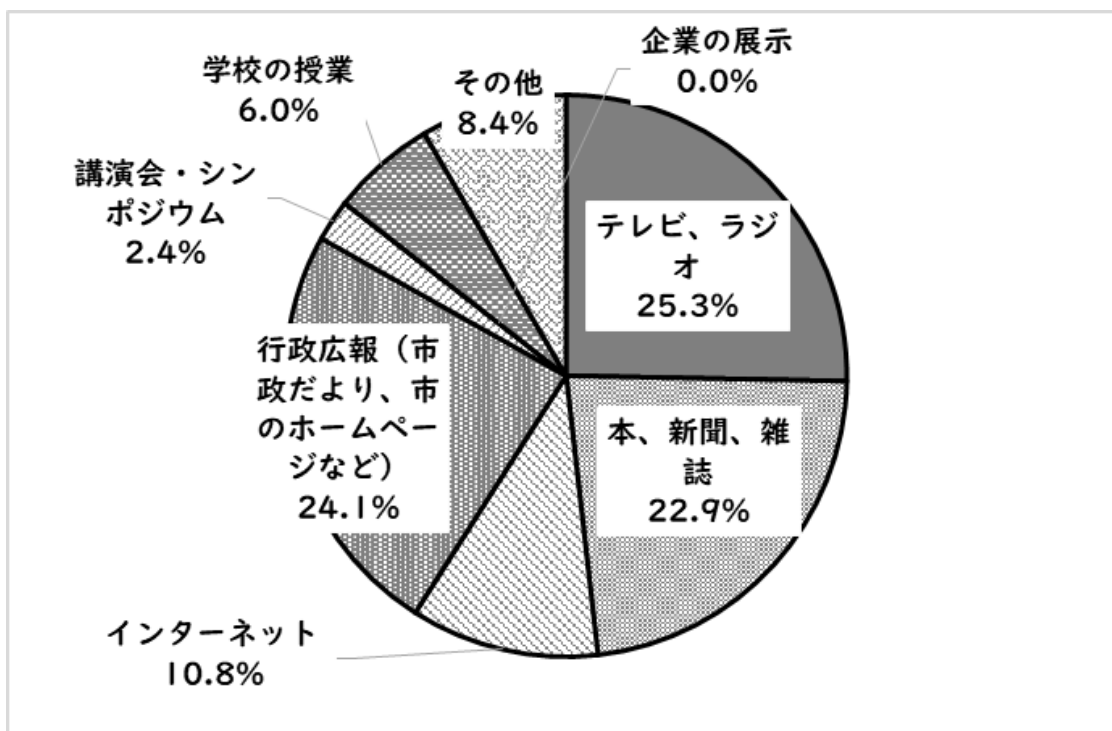
問6:あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。

- | | | |
|--------------------------------|-------|---------|
| 1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている | 23.1% | } 問6-1へ |
| 2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている | 50.5% | |
| 3. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味はあまり知らない | 20.9% | |
| 4. 言葉自体知らない | 5.5% | → 問7へ |



問6-1:問6で「1.言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている」、「2.言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている」、「3.言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」と回答した方に伺います。「ユニバーサルデザイン」という言葉をどのようにして知りましたか。

1. テレビ、ラジオ	25.3%
2. 本、新聞、雑誌	22.9%
3. インターネット	10.8%
4. 行政広報（市政だより、市のホームページなど）	24.1%
5. 講演会・シンポジウム	2.4%
6. 企業の展示	0%
7. 学校の授業	6.0%
8. その他	8.4%

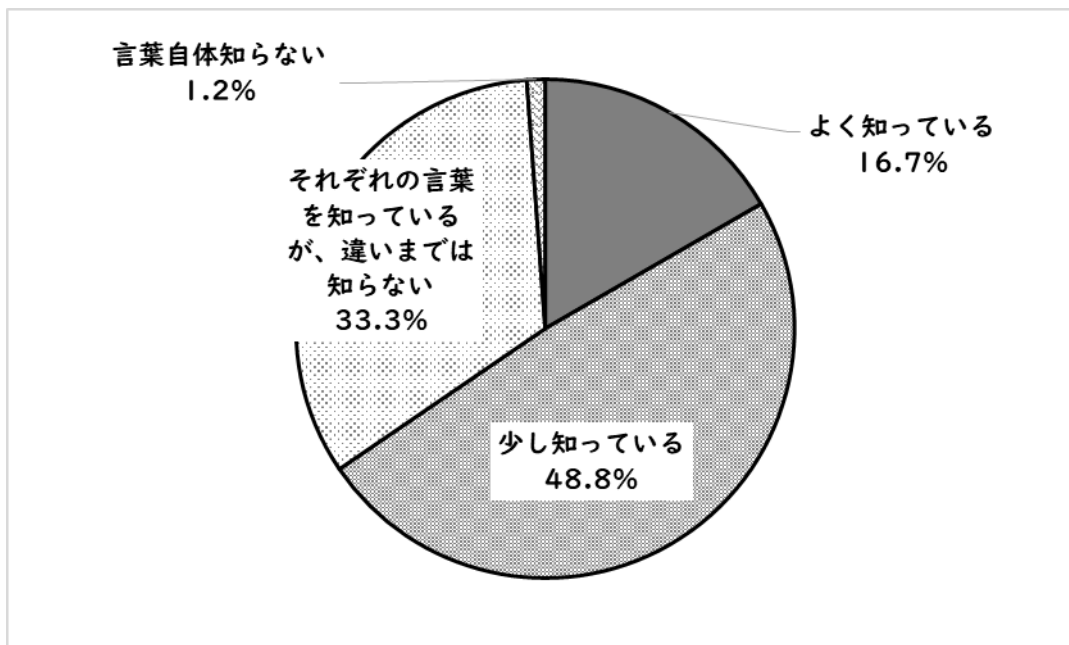


【その他の内容】

- ・「ユニバーサルデザインを取り入れたパンフレットのデザイン依頼」
- ・「某企業広報から論文作成依頼があったのでわかりやすい解説ものを提出した。」
- ・「仕事柄」
- ・「東京オリンピック表記」
- ・「ヘルパー講座、ボランティアの講習会などで」
- ・「市の行政に詳しい人から聞いた」
- ・「業務上（設計）で考え方をういている。」

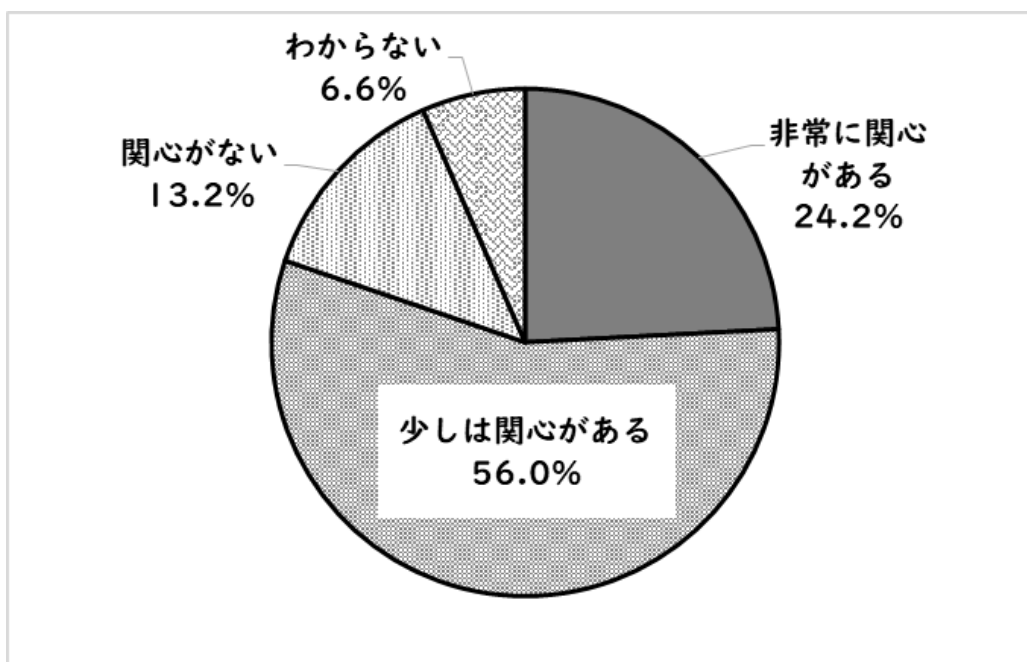
問6-2:あなたは「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」の違いについて知っていますか。

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. よく知っている | 16.7% |
| 2. 少し知っている | 48.8% |
| 3. それぞれの言葉を知っているが、違いまでは知らない | 33.3% |
| 4. 言葉自体知らない | 1.2% |



問7:あなたは「ユニバーサルデザイン」に関心をお持ちですか。

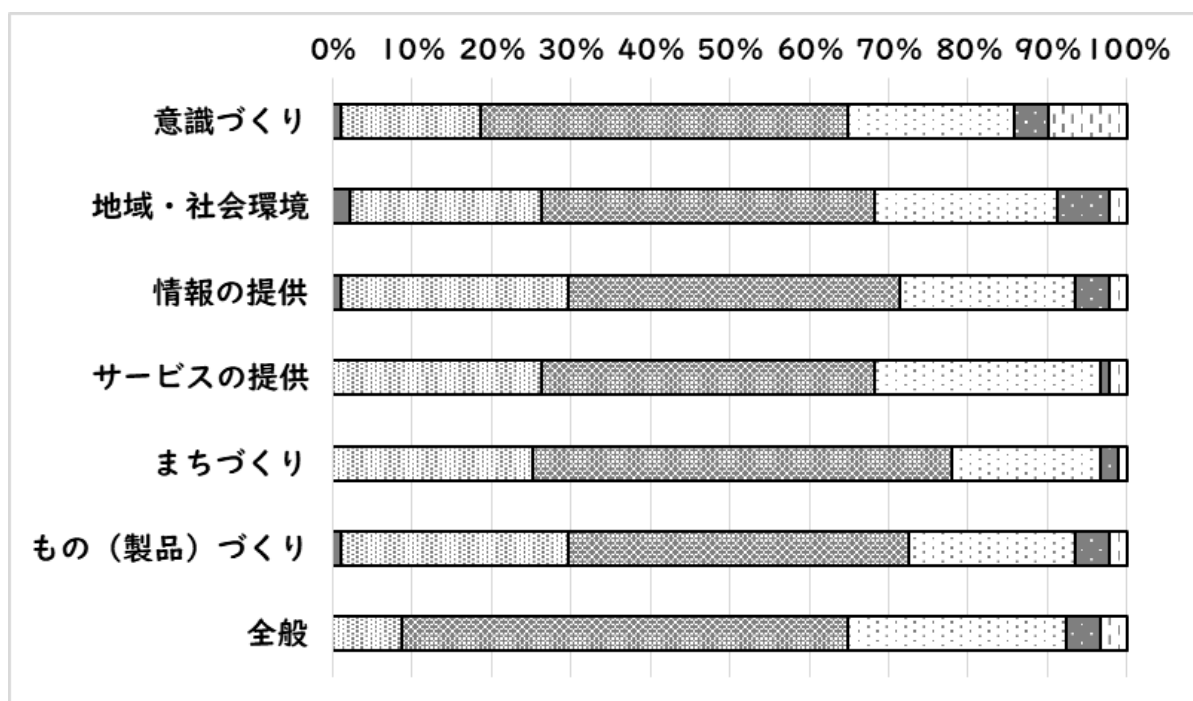
- | | |
|-------------|-------|
| 1. 非常に興味がある | 24.2% |
| 2. 少しは興味がある | 56.0% |
| 3. 関心がない | 13.2% |
| 4. 分からない | 6.6% |



問8:あなたの日常生活の中で以下のそれぞれの分野のユニバーサルデザインやその取組がどの程度浸透していると思いますか。それぞれあてはまるものを1つ選んでください。

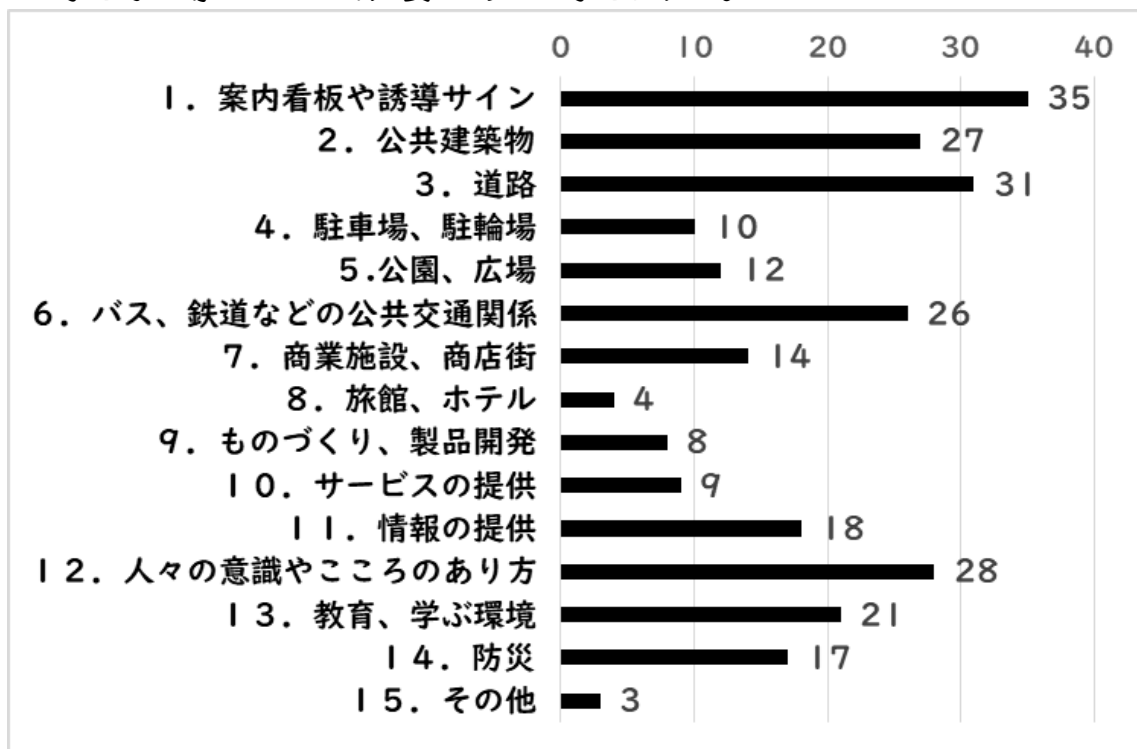
項目	内容
意識啓発(意識づくり)について	思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性の意識啓発など
地域・社会環境について	地域での支え合い、交流の場づくり、防犯・防災などの安全・安心な環境づくり
情報の提供について	様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ、情報の利用しやすさ
サービスの提供について	手続きの簡素化、気配りある対応など
まちづくりについて	施設設備、道路、公園、公共交通など
もの(製品)づくりについて	誰もが使いやすい製品の開発、普及など
全般的な認知度について	

	十分浸透している	まあまあ浸透している	あまり浸透していない	ほとんど浸透していない	わからない
意識づくり	1.1%	17.6%	46.2%	20.9%	4.4%
地域・社会環境	2.2%	24.2%	41.8%	23.1%	6.6%
情報の提供	1.1%	28.6%	41.8%	22.0%	4.4%
サービスの提供	0.0%	26.4%	41.8%	28.6%	1.1%
まちづくり	0.0%	25.3%	52.7%	18.7%	2.2%
もの(製品)づくり	1.1%	28.6%	42.9%	20.9%	4.4%
全般	0.0%	8.8%	56.0%	27.5%	4.4%



問 9:あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を導入していくことが必要だと考えるのはどれですか。(回答は3つまで)

また、回答いただいた項目において、具体的にはどのようにユニバーサルデザインの考え方を導入していく必要があると考えますか。



【具体的にユニバーサルデザインの考え方を導入していく必要と考える部分】

年代	性別	回答
60代	男性	行政の態度。
30代	男性	認知度を浸透させていく上で人の意識が伴わないと(興味をひかないと)広がっていかない。
30代	女性	子供が簡単に使えたりするようになるのは便利だと感じます。
50代	女性	ビジュアルが最優先。
70代	女性	2,3,11は公共性があり非常に大切な場所、情報だからユニバーサルデザインを迅速に進め、ポスター等で人々に周知する。
50代	男性	れいわ新撰組参議への各政党、行政、民間、関心のある個人、関心のない個人からの主張、意見、誹謗中傷などを紹介すれば非常にわかりやすいと思う。
30代	男性	教育の場でもっと取り上げる。
40代	男性	利用しやすさ。
40代	男性	小さいころからの教育。
40代	男性	ユニバーサルデザインという言葉がすでに横文字でわかりにくいので、ゼロベースで、すべての年代に伝わる言葉で簡単に。
50代	女性	運転しやすい道路環境、過疎地域の高齢化が進んでいるので運転しなくても生活できる環境作り。

年代	性別	回答
40代	男性	まずはユニバーサルデザインの認知度を上げ、意識を高めていき、その後さまざまなアイデアを集めながら進めていく。
70代	男性	2、個々の公共建築物について市議会や市民の代表者のしっかりと検証し、具体的に改善、推進する。 12、長期的なビジョンを策定し、地区単位の講習会等で市民意識の高揚をはかる。 13、12と関連しますが、幼稚園、保育所からの教育により、ユニバーサルデザインの考え方を育む。
40代	女性	ユニバーサルデザインとは何かを浸透させることからだと思う。
70代	男性	1. ユニバーサルデザインの更なる啓蒙。 2. 現場の意見（市民）を吸収し反映する場を増やす。
30代	女性	ものづくりや製品開発においても、もっとアピールした方がいい。
20代	男性	海外の人がわかりやすいように他国の言語で看板などの文字が書いてあるといい。電光掲示板で文字が日本語と外国語が入れ替わるように映せるといい。
50代	女性	テレビやラジオ、広報。
20代	女性	メディアに取り上げてもらう。
30代	女性	子供への教育も大切ですが、大人の認識が大事だと思います。 軽自動車税や固定資産税のハガキの裏面等、必ず手にとる配布物を使い周知していくのがいいかと思います。
50代	男性	例えば、目が不自由な人や、寝たきりの人が選挙に行けない。そういった人にも権利を行使できる公共サービスの提供が必要と思う。
40代	女性	子供が学校で学んできたことから詳しく知るきっかけになった。大人もきっかけがないと深く知ることは出来ない。
60代	男性	私のすんでいる近くに西公園がありますが、この近くの道路は40km/hの速度制限ですが、子供が道路を横断しようとしても速度を落とさず、なおかつ、車を止めて子供を横断させてくれる車が少ないようです。数年前にここで老人の方がなくなっております。公園があり、子供が横断しやすいように何らかの看板などをたてたらいいと思います。
50代	女性	安心して外出できる町作りとして生かしていく。
60代	男性	情報の提供において、例えば市政だよりも特集号として掲載するとか、とにかくもっとPRが必要だと思う。
50代	女性	教育の場で「ユニバーサルデザイン」について学んでいない世代層については、多くの情報提供を行っていただき、そもそもの考え方について、認識する必要があると考えます。
20代	男性	子供のころから、健常者も障がい者も「ただの違い」として認識してもらいたい。身近に通う公園や施設に最初からあれば、自然に考えるようになる。
50代	女性	全ての人々が満足して暮らしやすいという事自体が難しいのでは無いでしょうか？高齢者や障がいのある方に特化していれば全ての人にも繋がっていくかなとも思います。

年代	性別	回答
30代	男性	子供のうちに学校で学ぶこと。
50代	女性	行政が主導する。
20代	女性	体験型のセミナーなどを企画する。 ユニバーサルデザインが施された施設で実施すると、良さがわかり、参加者たちがユニバーサルデザインについて主体的に考えられるようになる。
30代	男性	表示や標識ではなく、考え方や物事の捉え方に対する教育や情報提供を進めていくべきだと思う。
20代	女性	難しくは無いんだということ、健常者も障がい者も対象だということ。
30代	男性	子供を連れて猪苗代湖に湖水浴に行こうと思ったがどこの湖水浴場に行けば良いのか調べてもいまいちわからなかった。会津地方は自然に恵まれている土地だからこそ、その辺りの整備や案内を行政の方でしていただけると子育て世代にとっては嬉しい。
40代	男性	会津若松市では、一方通行の道路が多いですが、他地域からの観光客が間違えないような、デザインの標識があれば良いと思う。また、逆走に気づき易い物も必要と思います。
60代	女性	・すべての市民が交通の手段の困難から外出をしなくなるのが無いように、生活の手段としての駐車場及び駐輪場等の整備。及び国内外の観光客の皆さんが安心安全に駐車及び駐輪できるような環境整備。 ・国内外の全ての観光客の方が、会津を旅行する間、言葉や身体的なことで困りごとが無く、心地良く過ごすことができる旅館、ホテルのハードとソフトの整備。商業施設及び商店街も同様。
30代	男性	ユニバーサルデザインの概念についてもっと一般の人が知ることが必要だと思う。今はあまり意識されてるようには感じない。
30代	女性	会津においては会津塗や会津木綿、日本酒など伝統的なものが沢山あるのでそれらの製品にユニバーサルデザインをうまく導入することで国内外にも発信できることが出来るのではないかと思います。
60代	女性	「説明なし」で誰が見ても分かりやすく見やすい。 道路標識は1回目で見逃しても大丈夫なように2段階表示。
20代	女性	まずは市役所本庁舎の建物をもっとユニバーサルデザインとバリアフリーを用いたものにするべきだと思います。
50代	女性	6.車イス利用の方、利用の方法(予約が必要なのかなど)を分かりやすくする。 12.体が不自由になってみないと想像しただけでは分からない困ったことが多くあり、冊子などで読みやすく(マンガとか)して役所や公民館、病院などに置いてもらう。
60代	女性	1.車の右折時、左折時の路面の表示もっと多く。 12.私はモニターとかでユニバーサルデザインについて少しはわかっているつもりだが…市政だより等で特集を繰り返す。

年代	性別	回答
60代	男性	1. 大きさや色など統一されるのが望ましい。 11. 老若男女、画一的でなく多様な方法で。 13. 推進の基本を教育・学習し、人が集まる機会利活用。
20代	男性	障がいのある人でも簡単に扱えるものももっとあった方がいい。
60代	女性	7・誰もが食事のためにマーケットに通うと思うので、どこに何があるのかの表示や、車いすが並んでも通りやすい広さが必要だと思います。 13・広く知ってもらう学習会があったらよいと思います。
70代	男性	2:施設のトイレで車いすのマークを見かけますが、例えば車いす使用者以外はご遠慮願いますと張り紙があった場合はどうしたらよいのでしょうか。 6:後期高齢者の市内バス使用がわかりづらい。JR 郡山発会津若松着何番線に着くか又到着時間が表示されなくなった。 11:パソコンやスマートフォンのできる人は良いですが、我々ない人は行政広報やテレビなどで十分と思う。
20代	女性	1:スマホが使えないような人を見ることを考えるとだれでも使いやすくしてはならないと思うから。 6:不特定多数の人には、いろいろな人がいるので難しいのは良くないと思う。 14:情報弱者にも平等に安全を確保すべきだと思うから。
60代	女性	3:お城周辺一方通行が多く道幅も狭いので道路や歩道を広くし、歩行者、車が気持ちよくなるようにする。 6:バス停乗り場がわかりにくいので、屋根をつけたり電光掲示板にしてネットで位置情報がわかるようにしてほしい。 7:外国人が宗教上の理由で飲食店を利用する際どの材料を使っているかわかるようにしてほしい(ハラールマーク)
70代	女性	1:基本的であるから 6:公衆の集合場所 10:意思の疎通が大切
70代	男性	3:新素材研究し先端工業製品開発 5:スマホでバスが今どこにいて時間、到着がわかる 9:もっと発見発明展の内容の充実するため小・中学での理科の実験をし考える観察力を
40代	女性	1:夜間でも見やすいように 10:メニューの言語
50代	女性	2:公共の建築物はいろいろな方が立ち寄る機会が多いから 7:同じくいろいろな方が立ち寄るため
70代	女性	3:危険がいっぱいなので安心して生活がしたい 6:誰にでもわかる様大きいサイズの表示 7:老若男女楽しめる商店街

年代	性別	回答
60代	女性	3:道路の段差が多い。車いすで安心して歩けない。ちょっとした段差でもつまづいてしまうので。 6:高齢者や障がいのある方が公共交通を使うのが難しいと思う。介助者が大変な場面を多く見た。 12:車いすや手押し車などを使っている方への手助けが必要。
40代	女性	2:様々な人が集まる場所なので多様性が必要 12:相手の立場に立って物事を考えることが重要。一人一人の意識が大切 13:他者を理解するためには子供のころからの意識づけが重要だと思う
70代	女性	1:今後高齢化が進む時代、脳からより目からのほうが良いと思いました。 4:自宅の裏が市駐車場かと思いますが、なんの目印もないです。 11:ソフトについてはわかりかねます。
80代	男性	3:自転車は排気ガスを出さないクリーンで一番身近な交通手段。自転車専用レーンにもっと力を加え、自転車用の信号機、標識などの整備。 6:免許自主返納で車の運転完全ストップ。バス車両・車体と路面の段差の解消。ステップなしの工夫…同じくドアで乗り降りが誰にでも優しく安全、誰にでも便利。移動の円滑化。
70代	女性	3:事故を無くす為道路標識を上げる。 14:若松の天災がなく幸せですが、もし起きた時のため考えたい。
40代	女性	1、13、14:わかりやすく
40代	女性	1:県内外から来た人にもわかりやすく。 2:公共物の建物であることを示すため。
20代	女性	2:建物が人々に迷惑をかけていないか安全か、その他工夫。 4:段差など、ブロック。 12:障がいのある人に対する言葉の工夫。また考え、安全性
70代	男性	2:特に古い建物で車いすで入れないところがあるので整備する(エレベーターがなく、2階にいけないなど)。 12:講習会開催する。
60代	女性	2:利用する人が多いので必要だと思う。 2, 6:市民だけでなくよその人も利用するので必要。
60代	女性	1:日本語英語に加えて中国語ハングル語の表記。 13:思いやりの心を育む心の教育に力をいれる。
30代	女性	1:まぎらわしさが無いもの。 13:個性をつぶさないもの。 14:多くの人が理解しやすいもの。
40代	女性	3:ユニバーサルデザイン以前に道路の改善が必要。 5:遊具の対象年齢の記載。 6:お年寄りやベビーカーのためにノンステップバスの導入をするべき。

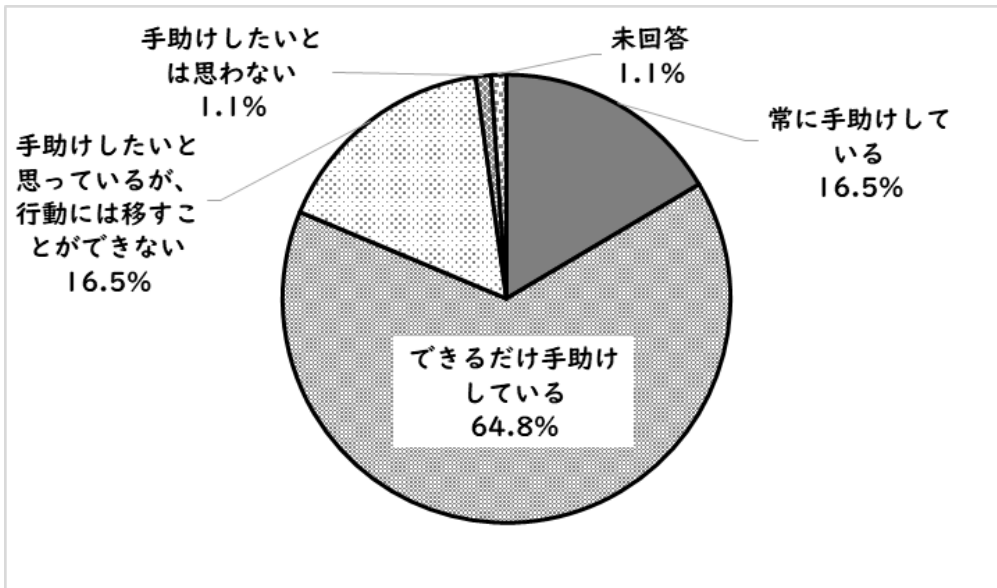
年代	性別	回答
70代	男性	1:観光都市として必要。 3:車で移動すると道路案内が不十分。 14:防災の意識が低い(災害が少ない)
30代	男性	8:観光地なので集客につなげられるようにする。 11:ホームページなどもっとわかりやすくしてほしい。
60代	男性	5:老人や障がい者に思いやりがない。 8:これといった魅力が感じられない。 14:会津にも大きな地震があったことを知らない人が多い。
50代	男性	2:すべての人が利用しやすい公共施設。 6:地方部、高齢者が利用しやすい公共交通。 7:地方部、高齢者の買い物支援
40代	女性	1:車で移動が多いので、すぐ目に止まるように大きく派手に目立つようにしてほしい。 3:運転しやすい道路標示をお願いしたい。 4:どこが駐車場かわかるようにしてほしい。
30代	女性	5:公園や広場などの休憩スペースが少ない。もう少し増やしてほしい。 11:会津若松のホームページは表示されている情報が多い、わかりやすく。
50代	女性	1:市外から来た旅行者も迷わず移動できるよう。 7:観光客には必須。 14:災害発生時など必要。
40代	男性	1:形をわかりやすく。
70代	女性	1:文字の大きさ、色合いなどを目につきやすく。
40代	女性	2、6:人々にわかりやすいように提示する。 12:わかりやすいように説明文を付ける。
50代	男性	2、3:健常者以外の人の利用をしやすくすべき。 12:差別意識がまだまだ多いように思う。
60代	女性	9:ユニバーサルデザインの視点でのものづくりや製品開発によって安全安心な社会づくりにつながると思う。 11:若い方々は情報を受け取りやすいが、高齢者などにはなかなか難しい。紙ベースの情報はもっとわかりやすく。特に文書。 14:防災はこれからの社会に重要な課題なのでみなが共通理解できる取り組みが必要。
40代	女性	11:「あいづっこ+」や「マッシュくん(会津若松+)」での定期的な配信があればいい。 13:小中高での教育で教えていただきたいです。 14:防災についてはユニバーサルデザインがどのようにあるのかわからないので、市政だよりによる情報提供

年代	性別	回答
60代	男性	1:年配者・障がい者ほか、車道、歩道整備、案内板など。 3:道路自体が狭く車社会では歩行者安全策を! 14:会津は災害などが少ないと思われるが対策は不可欠か!
60代	女性	3:歩道を作り、側溝をふさぐ。 12:子供のころからの教育が大事だと思う。
70代	男性	5:単に緑地があるだけでなく、地区・地域の交流の場としての在り方を考慮する。 12:単に触れ合える場の設定と、個人を守ることと地域全体を守ることの矛盾点の解消。 13:学校教育以前の家庭の教育力の欠如を取り戻す策。一人歩きをなくす。ルール厳守。
70代	女性	3:歩道が狭く段差が大きい。
60代	男性	11~13:ユニバーサルデザインは物品の形状や使い方の利便性が表面にできていると思える。しかし本質は物品でなく、「人の心、気持ち」にあると考える。そのため「人の心、気持ち」から他人を思う「バリアフリー化」が必要。具体的には小中学校での教育、高校での体験学習、成人には将来の自分、老人には現在必要となる知識であること周知させる。

3. こころのユニバーサルデザインについて伺います

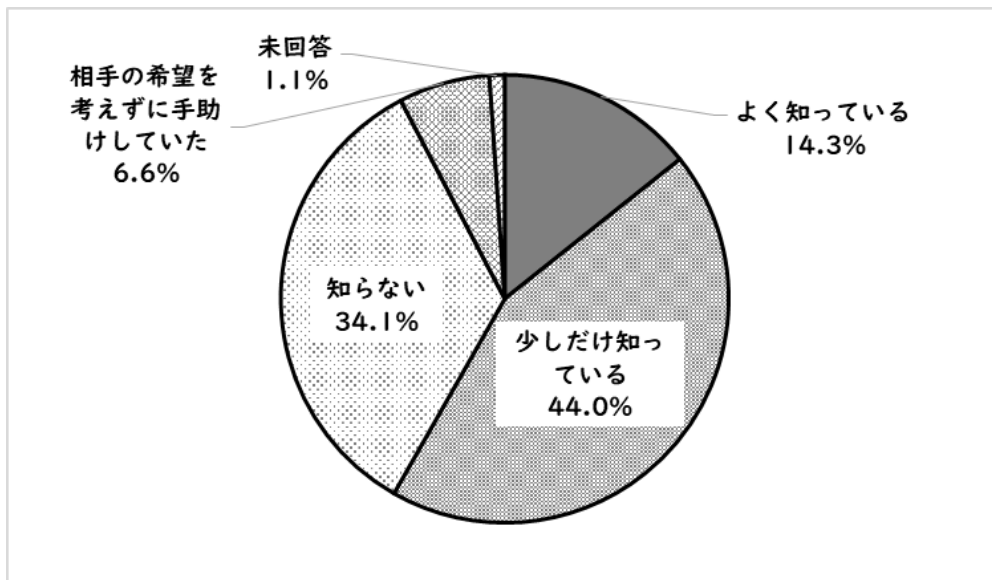
問 10:あなたは、外出の際、車いすの方が段差で進めなくなっていたり、視覚や聴覚に障がいのある方が、迷っていたりした場合、手助けしますか。

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 常に手助けをしている | 16.5% |
| 2. できるだけ手助けをしている | 64.8% |
| 3. 手助けをしたいと思っているが、行動には移すことができない | 16.5% |
| 4. 手助けしたいとは思わない | 1.1% |
| 未回答 | 1.1% |



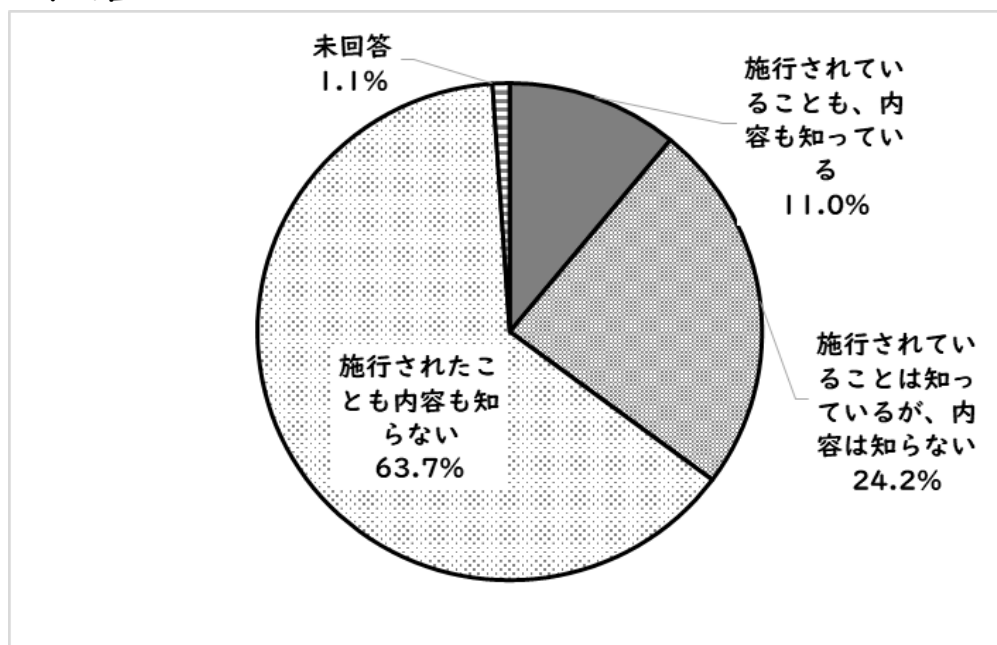
問 11:こうした困っている状況の方への声のかけかたや手助けの仕方を知っていますか。

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. よく知っている | 14.3% |
| 2. 少しだけ知っている | 44.0% |
| 3. 知らない | 34.1% |
| 4. 相手の希望を考えずに手助けしていた | 6.6% |
| 未回答 | 1.1% |



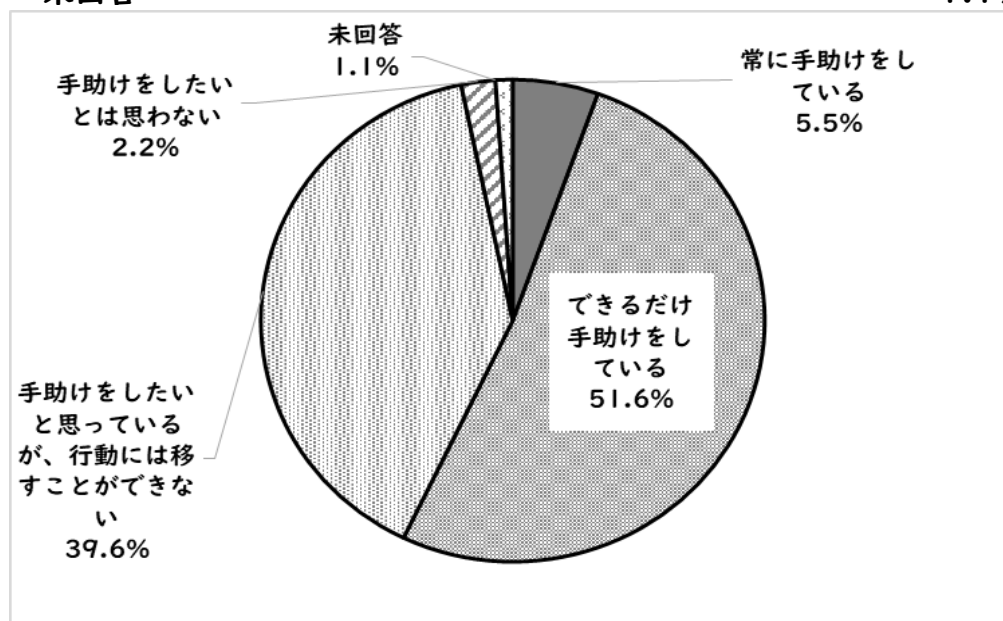
問12:あなたは、障がいのある方への「合理的配慮」などが求められる「障害者差別解消法」についてご存知ですか。

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 施行されていることも、内容も知っている | 11.0% |
| 2. 施行されていることは知っているが、内容は知らない | 24.2% |
| 3. 施行されたことも内容も知らない | 63.7% |
| 未回答 | 1.1% |



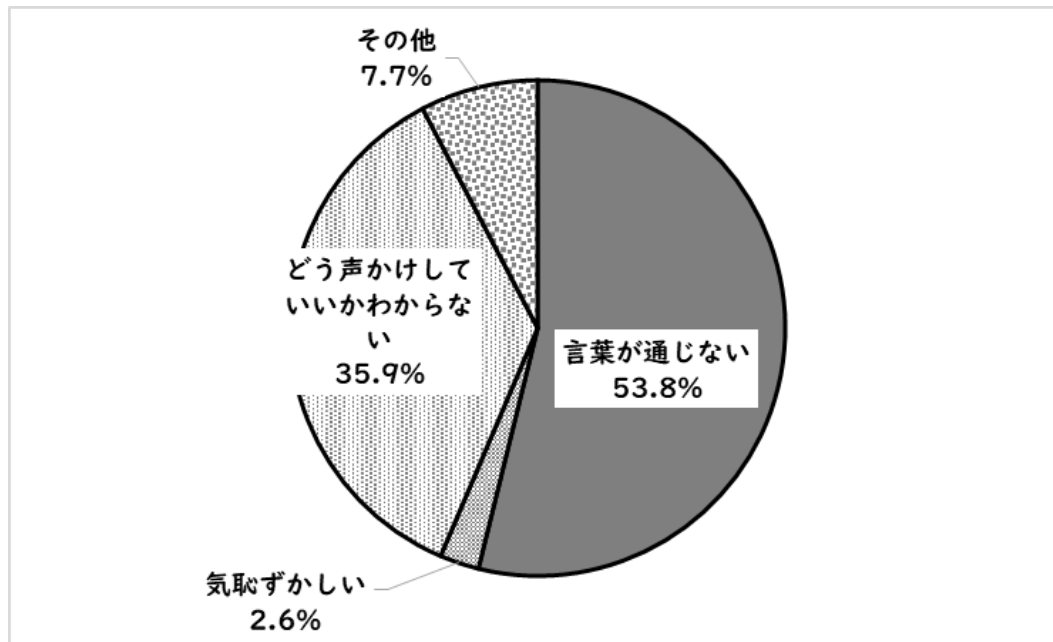
問13:あなたは、外出の際、外国の方が道や駅などで迷っていたりした場合、声をかけて手助けをしていますか。(または、したいと思っていますか)

- | | | |
|---------------------------------|-------|--------|
| 1. 常に手助けをしている | 5.5% | } 問15へ |
| 2. できるだけ手助けをしている | 51.6% | |
| 3. 手助けをしたいと思っているが、行動には移すことができない | 39.6% | } 問14へ |
| 4. 手助けしたいとは思わない | 2.2% | |
| 未回答 | 1.1% | |



問14:問13で「3. あまり手助けをしたいと思わない」、「4. 手助けしたいとは思わない」と回答した方に伺います。その理由を教えてください。

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 言葉が通じない | 53.8% |
| 2. 気恥ずかしい | 2.6% |
| 3. どう声かけしていいかわからない | 35.9% |
| 4. その他 | 7.7% |

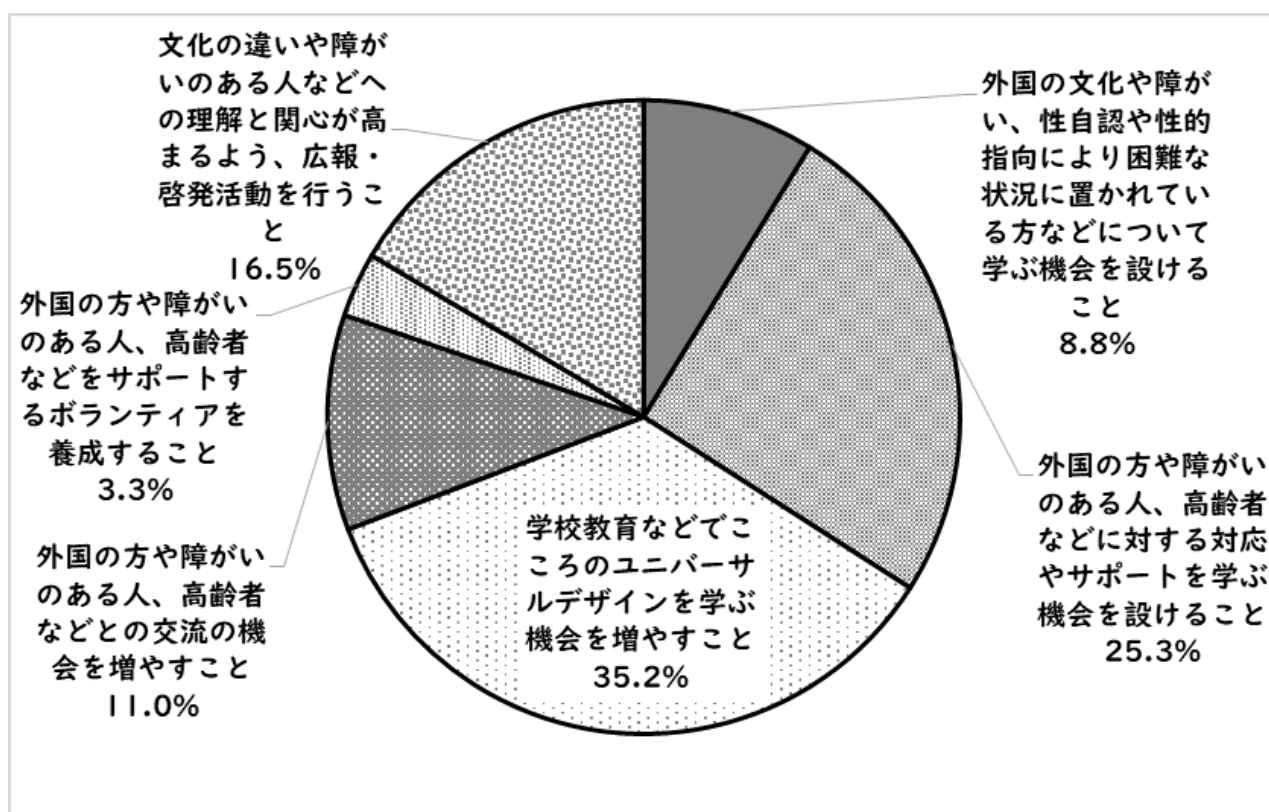


【その他の内容】

- ・「人格的に判断して無差別に行動しない。その人が自覚があるのであれば方法論を持っているはず(場の掌握)」
- ・「言葉が伝えられる前に相手に通じるかどうか」

問15:「こころのユニバーサルデザイン」では、相手を理解し、認め合い、共感しようとする意識や他者の困っていることなどに気づき対応しようとする意識が大切です。こうした視点から、「こころのユニバーサルデザイン」を進めるためには、どのような取組が必要だと思いませんか。

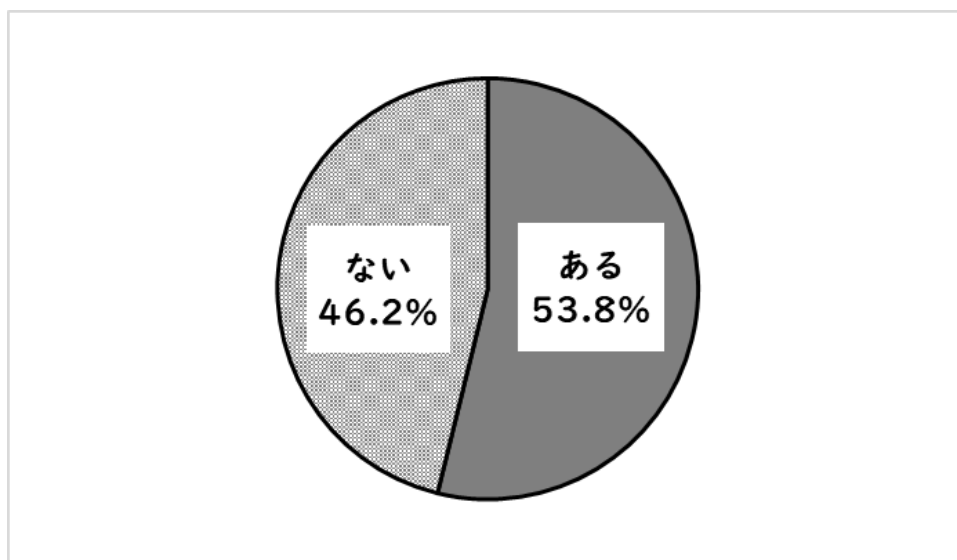
1. 外国の文化や障がい、性自認や性的指向により困難な状況に置かれている方などについて学ぶ機会を設けること 8.8%
2. 外国の方や障がいのある人、高齢者などに対する対応やサポートを学ぶ機会を設けること 25.3%
3. 学校教育などでこころのユニバーサルデザインを学ぶ機会を増やすこと 35.2%
4. 外国の方や障がいのある人、高齢者などとの交流の機会を増やすこと 11.0%
5. 外国の方や障がいのある人、高齢者などをサポートするボランティアを養成すること 3.3%
6. 文化の違いや障がいのある人などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと 16.5%



4. その他

問 16:あなたが日常生活で「ユニバーサルデザイン」を取り入れた設備や商品などを利用した経験はありますか。(シャンプーボトルの凹凸や駅の多言語表記、サービス等の内容など)

- 1. ある 53.8% → 問 16-1 へ
- 2. ない 46.2% → 問 17 へ



問 16-1:特に重要だと思ったもの・利用しやすかったと思うものとその理由を教えてください。

年代	性別	回答(もの・理由)
30代	男性	ペットボトルのくぼみ。滑らずに注げる
30代	女性	生活する上で手で触って確認する事もあるので必要だと思う
50代	女性	明瞭、簡潔であること
50代	男性	新幹線の身障者用トイレ。ぎっくり腰発症のとき本当に助かった。
40代	男性	嚥下障害のある方が利用するスプーンなど。工作上必要なため。
70代	男性	ヤクルト様より、ペットボトルのキャップ明けとコーヒー缶等のタブを簡単に開けられる道具をいただき利用しましたが、高齢者や握力の少ない方への思いやりが工夫されていた。
50代	女性	エレベーターのボタンの位置
20代	女性	最近では何を買っても説明書に複数の言語で書かれている。利用しやすかったと思ったものはない。
30代	女性	車イスや、子供でも使いやすい自販機
40代	女性	トイレ。広い。
50代	女性	ペットボトルのつかみやすいデザイン
50代	女性	ピクトグラムが最近とてもわかりやすくなったと感じています。表示がシンプルで、必要な場所に設置されている(都心に関して)

年代	性別	回答(もの・理由)
30代	男性	公民館の車椅子スロープ
50代	女性	シャンプーボトルの凹凸は便利だと思う
30代	男性	老若男女問わず誰もが分かりやすいデザイン
20代	女性	温泉施設での入浴方法の案内、外国の方には日本の入浴方法(マナー)は難しいと思うから。
30代	女性	文房具類
50代	女性	【サービスエリアのトイレ】 男子トイレにも赤ちゃんのおむつ交換の台が付いていた。 【道の駅のトイレ】 点字があり、幼児が座れるイスもあり広かった。
60代	女性	自動販売機→商品を取るのに下の方が取出口(車いす利用者の方とか便利、健常者にはかがまないと取れないので工夫してほしい)
20代	女性	バスのバリアフリーや優先席表示 ベビーカーや車いすの固定方法が示されており、対象者がいた場合私も手伝いができるのでは、と思った。
60代	女性	高齢者に向けた食器:父が敬老の日のお祝いで市からいただいたコーヒークップ等、持ちやすく熱伝導が弱く食事の際大変役立ちました。自ら持って食しました。
70代	男性	シャンプーボトル:手ですぐわかる
20代	女性	多分、気づかないうちに使っていると思います。シャンプーのボトルはそんなものがついていないとは知りませんでした。必ず必要としていない人にとっては私のようにわからない人もいます。
60代	女性	トイレの和洋の入り方がイラストで丁寧にわかりやすく書いてあった。:外国人観光客が増える中、日本独自の様式に対応することで、みんなが気持ちよく公共の場所を使えることは大事です。
70代	男性	ソース・ドレッシングのふた:上キャップで商品中身のキャップもとれる
70代	女性	多言語表記、日用品:日常に必要である(生活上)
70代	男性	子供の道具、生活空間のけがしないドア設計:人間の行動心理額で防犯と金のTLヒーターとりつけ!工業デザインからくる構造上の合理性。
50代	女性	トイレ:広いので、車いすでの利用がスムーズだった為
60代	女性	シャンプーのボトルの凹凸、洗濯機などのスイッチの点字:さわるとすぐにわかるので
40代	女性	自動販売機:コインを入れる穴が高い位置にあたり入れやすい形状だったりしたものを見たことがあります。
40代	女性	駅構内での乗車までの誘導案内:教育的でわかりやすかった。
20代	女性	てすり:安心して上り下りできるから(もしもの時安心)
70代	男性	駅の多言語表記は外国人観光客には非常に重要である。(外国人観光客が毎年増加している。)

年代	性別	回答(もの・理由)
60代	女性	信号機:音楽で知らせてくれる。または、道路の凹凸があり、身体の障がいのある方はたすかっていると思う。
30代	女性	トイレ、標識、ペットボトルのへこみ:パッと見てすぐに理解できるところ。
40代	女性	幼児用トイレ:大人用のトイレしかないと子供が落ち着かないことがある。
70代	男性	トイレや観光施設の案内板
50代	男性	ない。多言語表記は行き過ぎだと思う。
30代	女性	道路の幅が広くなり、整備されている。色別に表示したりしている。:色で車と自転車で見分けられていると、一瞬で判断できるため。
40代	女性	シャンプーボトルのへこみ:目がシャンプー時見えない時に役に立った。 トイレのLGBT表示:LGBTの方々への配慮
60代	女性	交通機関(駅・空港・電車)での表示、多機能トイレ:急いでいる時にわかりやすい表示があつて助かった。十分なスペースがあり、子供と一緒に利用している。
40代	女性	本:ユニバーサルデザインの本を学校に置いて身近に感じられる環境があれば良いと思います。
70代	男性	生命に関わること(鉄道、道路の安全標示や安全用具):目視だけでなく身体全体で安全を確認できるものだから。
60代	男性	食器類:普段、物の形を意識せずに”つかむ、もつ”などの行動をしているが、ユニバーサルデザインの食器はよく考えられていて、食事が楽しくなると感心させられる。

問 17: 店舗やさまざまな施設において、あなたが他の人に紹介したいと感じたユニバーサルデザイン(こころのユニバーサルデザイン含む)があれば教えてください。

年代	性別	回答(もの・理由)
30代	男性	都内の自動販売機など、車椅子の方でもボタンを押しやすい仕組みがあるので、公共の場が増えるとしっかり考えてると思う
30代	女性	階段にある手すりは子供からお年寄りまで使えて便利だと思う
50代	女性	最近の道の駅などにおけるフラットなフローリングや広いトイレなど。
50代	男性	JRの各駅のエレベーターなど。障がい者用だと思われるが手荷物が多い時、具合が悪いとき、女房妊娠時などで重宝した。
20代	女性	稽古堂しかないように思います。
50代	女性	病院で外国の方に通訳の職員がついてくれていた事。
60代	女性	「トイレ」の表示があちこちでバラバラなので統一するのはどうか?
60代	女性	車いすがあるマーケットがあり、一歩進んだと思いました。
60代	女性	商業施設に入ると小鳥のさえずりが聞こえる→リラックスして買い物ができる。
70代	女性	日常商品
70代	男性	無印店の文具類
80代	男性	七日町阿弥陀寺:施設のユニバーサル他所から観光客を案内していくと、キチンの本堂を開放し、交流の機会を増やしてくれる。これは、理解と関心が高まり案内の手助け大である。大いに紹介できる。
40代	女性	駅など
60代	女性	入口にステッカーなどで使用できるものが貼ってあると、この施設ではこの種のもので利用できると確認できる。
60代	女性	北海道旅行に行ったとき、ほとんどの案内版、パンフ等に英語中国語ハングル語の表記がなされていた。
30代	女性	具体的な場所の記憶はありませんが、障がいをもった方が利用しやすいところはみたことがあります。
70代	男性	城下町や旧施設道路案内板など:間違わないで目的地に行けた。
50代	男性	地図記号が直感的イメージできるものに変更されたこと。
40代	女性	使いやすい多目的トイレ。子連れに優しいトイレ。
30代	女性	バスや自動販売機でのICカード利用は進めてほしい。
70代	女性	竹田総合病院の会計機の場合バーコードを読み取る時点で診察券が不要になり、案内票にバーコードが印刷されていてとても便利になり感心しました。
40代	女性	LGBTの方々のトイレの表示
60代	女性	高さが大人にも子供にも合わせて2本設置されている手すりはいいなと思います。
40代	女性	図書館のエレベーターは使いやすいと思います(稽古堂)
60代	男性	毎日の生活の中で外出先に注目しているが特になし
70代	男性	最重要は「言葉」による援助だと思う。言葉により互いの心が理解し合えると思うから。

問 18:その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、ご意見やご提案などがありましたら教えてください。

年代	性別	回答(もの・理由)
男性	60代	市庁舎および市職員の意識改革が先
男性	30代	市内のユニバーサルデザインについて考えたことがなかったので、意識してみます。勉強会のイベントがあれば参加してみたいです。
女性	30代	今は特にありません
女性	50代	統一されたデザインやカラーで街中にサインを掲示する。シンボルをデザインする。
女性	70代	このようなアンケートを利用し、ユニバーサルデザインを推進すればよい、と考える。
男性	50代	ユニバーサルデザインは民主導と言われるが行政施設などは必須だと思う。ただし、大阪城、名古屋城などでは障がい者対応への賛否両論がある。本市鶴ヶ城含めたくさんの文化遺産といえる建造物も多い。文化遺産へのユニバーサルデザイン導入の先駆的役割も担える。本市モデルを他の観光地関係者などが多数視察に来て、応用されるような取り組みを期待したい。
男性	40代	学校教育の現場からすすめるのが一番。それを教師にお願いするのではなく、特別授業として専門家を派遣する。
男性	40代	「ユニバーサルデザイン」という横文字で年配の方などはまず構えてしまうのではないかと感じます。もっとわかりやすい言葉で周知させてほしい。せめて会津若松市だけでも。
男性	70代	問9についてのそれぞれの回答者の意見を精査し、推進していただきたい。
女性	50代	外国語の表示がまだまだ少ないと感じます。また障がいのある方々を市内でほとんど見かけません。これは障がいのある方に不自由な環境な為ではないでしょうか?もっと多様な方々を見かける街になって欲しいと感じます。
女性	50代	特になし
男性	30代	一方通行が多い本市において、看板だけでなく道路上に一方通行の矢印もしくは進入禁止の白線標示をもっと増やすべきだと思う。
女性	60代	1人の方に意識を定着させ、深めることはとても長い時間がかかり大変だと思います。が、大切なことなので、学ぶ機会や交流の機会が沢山あり、考え実践する人を育てることが大切ではないかと思っています。
女性	60代	昨年度のモニター時にも提案したのですがモニターの方は市の取り組みに対して意識が高いと思います アンケートの回答だけでなく生の声を聴く場を設け勉強会を兼ねることで深掘り、普及できるのではないのでしょうか。ユニバーサルのアンケート回答は何回もしていますが今必要を感じないせいか情報が蓄積されていません ご検討いただけたらと思います。
女性	20代	何回も言いますが、まずは市役所本庁舎の建物をもっとユニバーサルデザインとバリアフリーを用いたものにするべきだと思います。

年代	性別	回答(もの・理由)
女性	50代	皆が利用する市役所(トイレ)や学校の校内図などに外国語表記を加えていく。
女性	60代	あちこち注意してみれば「これがユニバーサルデザインか」と思うのが見受けられるが、わからない人(これが当たり前と思う人)が多いと思う。
女性	20代	問いを通して手助けをした際、相手の希望に寄り添えていただろうかと考えさせられた。手助けの仕方などの知識を学べる機会があればいいなと思った。
男性	60代	ユニバーサルデザインの趣旨はすばらしいし、積極的に推進し、実現される社会になってほしいと思うが、競争社会、権力のパワハラ、ヘイトスピーチの増長などの現実社会と照らし違和感がある。一地方都市の取り組みは限界がある。国際として強力に進めないとな実現は困難では？
女性	60代	老人介護サービス施設の現場で働いておられる方々の意見を聞くなど、問題提起をいただきたいと思います(具体的に)
男性	70代	ユニバーサルデザインを取り入れた自動販売機について数少ないと思いますが、車いすの場合はどうなのでしょう。また、ATMはどうでしょうか。
女性	20代	学校教育の授業として強制的に勉強したりしない限り、関心がなく、知らないことだらけだと思いました。みんなで習える授業は大切だと思います。
女性	70代	市政だよりの欄外にユニバーサルのCMを毎月掲載して目につくようにする。
男性	70代	子供・赤ちゃんの知育の木の道具・子供対象として工業製品の紹介、日用品のアイデア商品(文具・家庭用品アイテム)100円ショップのアイデア品の紹介。
女性	70代	これを機に意識をもって関心を持つよう心がけます。
女性	40代	まだまだ整備が必要なのではないかと思います。ハード面はもちろんですが、様々な人を受け入れるためソフト面での意識づけが重要ではないでしょうか。
女性	70代	ユニバーサルデザインについて問われ、勉強不足、生活面での目配りのなさに気づかされました。
男性	80代	深刻な高齢化社会を認識した、推進活動と理解し、より多くの市民の共感を得られるように各町内会に協力を求める。新しくユニバーサルデザインを設ける(各町内で…)まだまだ元気な高齢者居りますよ。
男性	70代	急ピッチで推進していると思う。
女性	60代	皆が気づく、わかる、よりよい伝達をお願いします。
女性	60代	公衆トイレや官公庁のトイレはウォッシュレットに。トイレは清掃をまめに行い常にきれいにしておく。
女性	40代	市政だよりに詳しく載せるといいと思う
男性	70代	城を中心とした駐車場のわかりやすい、広い場所を作るべき
男性	50代	とにかく多言語に、歩道にはとにかく点字ブロック貼っとけばいいとか、安易な考えによる設置がある気がします。
女性	40代	どんどん活用して行って欲しいと思います。トイレの場所がわかるようにトイレマークは大きくしてほしいです。また、おむつ交換台があるかのマークも大きく示してほしいです。

年代	性別	回答(もの・理由)
女性	30代	ないです。
女性	50代	特になし
女性	70代	目の不自由な方への点字ブロックというかデコボコが車いすの人には不自由な感があります。
女性	40代	益々、広めていってください。よろしくお願いいたします。
男性	50代	外国のお客様も多くいらっしゃるようになったので、多言語対応の推進が必要では。
女性	60代	少しずつ「ユニバーサルデザイン」の普及によって暮らしやすい社会になっていくといいなと思います。「心のユニバーサルデザイン」も大事なのでまず学校教育で学ぶ機会を増やすといいかなと思います。市だけの取り組みだけでは大変なので、市民団体などを動かしてとりくんでみると大きな輪になっていくかと思っています。
女性	40代	小学校の道徳の時間のテーマを「ユニバーサルデザイン」にして授業参観で各小学校に取り入れてもらうのはどうでしょうか。
男性	60代	特にありませんが、勉強?に行きたいと思います。
女性	60代	ユニバーサルデザインという言葉は年配や情報に興味のない人にはとてもわかりづらいです。興味をもたせるのが一番かと。
男性	70代	例えば「文字で知らせたもの」でも再度尋ねられたら「お知らせ」してありますという。自分本位の答え方でなく、知らせる方法がまずかったという発想になれば素晴らしい地域ができると考える。
男性	60代	市内の小学校(日新小学校)で実践している「什のころ」は会津が今後とも継続すべき大切なことである。この考えを基本とした行動が行える将来の大人の育成をする。